

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2025年
冬
第216号

古典芸能伝承の館 碧水園
舞台びらき



2～3P	12月定例会の概要・審議した議案	11P	人事・編集後記
4～5P	常任委員会行政視察報告	お知らせ	「市民と議会の意見交換会」開催
6～11P	代表質問・一般質問(10名)		

議会を傍聴しませんか？

2月定例会は、2月13日（木）午前10時開催予定です



インターネット中継



傍聴のしかた



市長の所信表明

12月例会

一般会計補正予算など24議案を可決

令和6年12月定例会は、12月9日から12月20日までの12日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、人事1件、専決2件、条例等9件、予算2件の計14件でした。市長の所信表明を受け、その後、全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第75号から議案第77号は採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

代表質問および一般質問は、12月12日と12月13日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。

4日目(12月17日)、議案第78号から議案第88号までの質疑が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(12月20日)の本会議において、市長提出議案10件(議案第89号から第98号)が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり同意・可決しました。

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市材木岩公園等設置条例の二部を改正する条例

ポーチパークの使用料について、時間貸しから月貸しに変更するもの。

【質疑】月単位の使用料に休憩室が加わった経過と、今までの変更点は。

【答弁】休憩室は、ポーチパークを訪れた方々が自由に利用できるスペースとして設けていたが、現状では利用団体の活動拠点の一部として使用していることから、今回の改定に併せて使用料の設定を行い、正式に貸し出しできるようにしたもの。

【質疑】改正案に時間区分での使用料は設定していないが、どのような考えか。

【答弁】現状の使用方法に合わせ、月単位の設定としている。

議案番号		件名	審議結果
第75号	市長提案	教育委員会委員の任命について	同意
第76号		専決処分承認を定めることについて(専決第18号)(令和6年度白石市一般会計補正予算)	承認
第77号		専決処分承認を定めることについて(専決第19号)(令和6年度白石市一般会計補正予算)	承認
第78号		仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び仙南地域広域行政事務組合規約の変更について	原案可決
第79号		白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第80号		白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決
第81号		白石市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第82号		白石市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第83号		白石市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第84号		白石市子育て支援多世代交流複合施設条例の一部を改正する条例	原案可決
第85号		白石市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて	原案可決
第86号		指定管理者の指定について(白石市スポーツセンター)	原案可決
第87号		令和6年度白石市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
第88号		令和6年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第89号		副市長の選任について	同意
第90号		白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第91号		白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第92号		白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

12月定例会で審議した議案

○白石市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

水道整備・管理行政が、厚生労働省から国土交通省に移管されることに併せて、水道事業布設工事監督者と水道技術管理者の資格要件が改正されたことから、関係法令との整合性を図り改正するもの。

【質疑】水道技術管理者の確保、育成についての考えは。

【答弁】今回の改正により資格要件が緩和され、資格基準を満たす職員は増えるが、水道の管理について、技術的な業務を行うことができるよう、所内研修を始めとしたOJTや各研修会への積極的な参加など、次世代につなげる人材育成に取り組んでいく。

また、できるだけ多くの技術職員が水道事業を経験し、切れ目ない有資格者の確保に向け、体制構築に努めていく。

○白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例の一部を改正する条例

こじゅうろうキッズランドの利用料金について、無料とする対象年齢を「生後6カ月未満」から「1歳未満」に引き上げるもの。

【質疑】今回の提案に至った理由は。

【答弁】施設を利用する保護者からの多くの意見を受けて、指定管理者より1歳未満の利用料の無料化について提案があったもの。

【質疑】利用料金収入が減少することが予想されるが、指定管理料の改定に反映させるのか。

【答弁】指定管理者と基本協定内容に変更が生じないよう事前協議をしている。

○指定管理者の指定について（白石市スポーツセンター）

●指定管理者となる団体

白石市スポーツ協会

●指定の期間

令和7年4月1日から

令和10年3月31日まで

【質疑】利用状況等により、指定先の変更や期間満了後の指定の取りやめ等を検討する指標はあるのか。

【答弁】利用者数や利用金額等についての指標はなく、毎年度、指定管理者より提出される事業報告書等により、協定書や管理仕様書に基づく管理状況を確認している。

予 算

○令和6年度白石市一般会計補正予算(第4号)

1億9170万9千円を増額し、予算総額を179億6486万8千円とする。

【歳出】

○市制施行70周年記念

のど自慢公開収録開催事業

846万4千円

○スマートインターチェンジ整備事業

1517万5千円

○学力向上プロジェクト事業

(白石市学力・学習状況調査)

25万1千円

【債務負担行為】

●白石市学力・学習状況調査

業務委託料

第93号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
第94号	令和6年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第95号	令和6年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第96号	令和6年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第97号	令和6年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第98号	令和6年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

【期間】令和7年度
【限度額】57万3千円

【質疑】のど自慢公開収録会場設営および撤去業務委託料について、契約形態決定までの手続きを伺う。

予定。順調に施工業者が決定すれば、令和7年度中に工事に着手する見込み。
【質疑】白石市学力・学習状況調査の詳細と結果・今年度取り組むべき課題は。

【答弁】NHKが指定する事業者との契約ではなく、市の入札契約審査委員会の決定を経て入札等を行い、事業者決定後、契約となる。

【質疑】(仮称)白石中央スマートインターチェンジ附帯工事の詳細は。

【答弁】本調査は小学校4年生から中学校3年生を対象に令和元年度より実施し、6年目となる。個々の児童・生徒の学力の伸びを継続して把握できるほか、「非認知能力」等を測定できる調査である。

【答弁】本体工事に必要となる工事用仮設道路等を整備するもので、連結許可の条件により、市が東日本高速道路株式会社から委託を受けて行うもの。

中学校3年生の6年間の経年変化を見ると、年々学力レベルが向上していることから、学力が着実に身に付いていると捉えている。

【質疑】本体工事の予定は。

今後の取り組みべき方向性として、結果分析を踏まえ、より効果的な学習指導の充実と改善を進めるほか、分析の在り方自体も検討し、質を高めていく。

【答弁】NEXCO東日本公表の「令和6年度発注見通し」によると、今年度中に入札を行う

厚生文教常任委員会（令和6年7月2日～3日）

山形県天童市 ◆ 子育て支援のトータル施策状況について

天童市では「住んでみたい、住み続けたい、子どもを生み育てたいまち」を基本理念とし、「子育て支援日本一挑戦中!」を掲げ、子ども・子育て支援事業に積極的に取り組んでおり、子どもの数も減少率が低く、合計特殊出生率も全国平均を上回って推移している。

「第二期天童市子ども・子育て支援事業計画」(R2～R6年度)

子どもを持つ家庭への幅広い子育て支援事業のさらなる充実

・子育て支援事業「病児・病後児保育」

「多胎児世帯ヘルパー派遣事業」

・障害児「発達支援室」

・地域における子育て「孫育て」「子ども食堂への支援」など



(天童市役所前にて)

山形県東根市 ◆ 複合施設の建設の経緯および運営状況について

「子どもたちが生まれたことに喜びを感じ」「若者が住むことに誇りを持ち」「高齢者が暮らすことに安心を実感できる」まちの実現を目指し、保健福祉および子育て支援の機能を兼ね備えた総合福祉センターの建設が進められ、平成17年「さくらんぼタントフルセンター」がオープンした。建設から既に20年経過した今なお、維持管理および運営の実績は各方面から高く評価されている。

東根市の市民で立ち上げた「NPO法人クリエイティブひがしね」は、市民目線での事業実施、細やかな心配り、市民ニーズの把握、市民に近い存在という行政だけでは成し得なかったソフト面の充実を図っている。官民連携の成功事例と言える施設である。

東根市：さくらんぼタントフルセンター



子どもシアター



大型遊具



保育所の庭園

センター内施設には、保育所・子育て支援センター・屋内大型遊戯施設・子どもシアター・調理実習室・休日診療所・大ホール（502席）等が設置され、保健・福祉・医療を総合的に推進する多機能集積施設である。

山形県新庄市 ◆ 小中一貫義務教育学校について

平成17年に「小中一貫教育の導入」の検討が始まり、平成27年に施設一体型の小中一貫校「萩野学園」が開校した。

平成28年、学校教育法が改正され「小中一貫義務教育学校萩野学園」となった。萩野学園は山形県最初の小中一貫校として、開校から10年目を迎え実績もあり、その学校運営についても高く評価されている。施設見学、小中一貫教育の取り組みと義務教育学校の成果と課題の検証結果など、今後の参考になる研修となった。



(新庄市：萩野学園での懇談)

各常任委員会共に、今回の視察を参考に、白石市の政策に反映させるべく成果と検証を行い、政策提言に向け、さらなる活動をしてまいります。

行政視察報告 ～先進地に学ぶ～

総務産業建設常任委員会（令和6年7月24日～25日）

長野県須坂市 ◆ 公共交通計画および公共交通施策について

既存の鉄道や民間バス路線を基軸に、「すざか乗合タクシー」および「すざか市民バス」によってネットワークを形成している。乗合タクシーは市民バスネットワークから離れたエリア（須坂市北西部エリア）を補完する役割を担い、高齢者を主な利用者としてデマンド型の運行をしている。

市民バスは、須坂駅を起点に4つの路線を運行し、周辺の居住地や生活必需施設を連絡する路線となっている。また、民間バス3路線とも乗り継ぐことができ、広域への移動の補助的な役割も担っている。現在のところ、乗合タクシーは市内全域をカバーしてはいないが、将来的には市内を5エリアに分割し、随時、運行エリアの拡大を検討している。

市民バスの運行経路や停留所の増設等に関しては、市民の声や利用実績を検証し、定期的に見直しを実施している。（大学と連携し、データを活用）特に、停留所においては利用者の要望により、施設内まで入った所に設置し、利便性の向上に努めている。

本市においても公共交通機関への要望が多く寄せられている。ＪＲや宮城交通バス等の既存交通機関との連携や、市民バスきゅっするくん（郡部8路線、中心部の循環便）における利便性の向上に向け、須坂市の取り組みを参考に検討すべきと感じた。



（須坂市役所にて）

長野県大町市 ◆ 鳥獣害対策について



（大型捕獲檻）

近年、鳥獣被害の中でもサルによる被害が全国的にも拡大しており、大町市ではＩＣＴを活用し、正確かつ効率よくサルの捕獲を実施して、鳥獣害被害の減少に大きな実績を示している。被害額は導入前の約3分の1、捕獲頭数は導入前の5倍に増加。住民からの通報も激減している。

《市の実施事業としては》

- ① 生態調査⇒ＩＣＴ（GPS、ビーコン等）機器やサル害対策協力員によって行動パターンを調査
- ② サル捕獲事業：大型捕獲檻の導入⇒追い払いと少数捕獲では被害が拡大してしまった。
- ③ 耕作放棄地等における餌となる誘因物除去：市職員が収穫⇒サル捕獲用餌として活用。（鳥獣の餌となる誘因物除去に取り組んでいる）
- ④ 専門職員の雇用：担当職員は銃・罠の免許を所有し、自らも猟友会に所属している。
* 専門の会計年度職員も雇用されているなど、人材が充実している。
- ⑤ 近隣市町との連携が重要：市をまたいだ情報交換を実施（生態調査結果、発信機の装着情報や基地局の設置場所を共有）

本市においても鳥獣被害対策は大きな問題となっている。大町市における官民一体での取り組みによる実績を参考にし、白石市に合ったより良い鳥獣害対策を検討すべきと感じた。



（大町市議会議場にて）

所信表明に対する代表質問 市政に対する一般質問

〰〰〰10名の議員が質問〰〰〰

12月定例会の代表質問・一般質問は、12月12日・13日の2日間
にわたって行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

【代表質問】

角張 一郎 所信表明について

高子 秀明 市長の所信表明について

【一般質問】

大内 卓也 太陽光発電施設の建設について

佐久間順子 婦人防火クラブの在り方について

村上 由紀 公立刈田綜合病院の周産期医療提供体制について

角張 大治 保険事業の負担と受益およびその周知について

大森 貴之 聴覚情報処理障害（APD）に対する本市の対応について

佐藤 龍彦 本市の投票環境および投票率の向上対策について

佐藤 秀行 運動施設の設備等について

四竈 英夫 児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について

所信表明について

角張 一郎



【質問】公立刈田綜合病院について、今後どのような病院を目指しているのか伺う。

【答弁】【市長】令和7年4月から常勤の麻酔科医が着任予定であり、整形外科手術についてより柔軟に対応できるものと受け止めている。

今後引き続き、他の医療機関や介護施設との連携を積極的に進め、みやぎ県南中核病院との連携プランに基づき二次救急、回復期医療のさらなる充実を図り、仙南医療圏における刈田病院の役割を果たせるよう、地域医療の確保と安定した病院経営を推進していく。



二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

【質問】道の駅・防災公園整備事業について、市民に対し、広報等による情報の提供、市民が運営等に関われる環境整備が重要と考えるが所見を伺う。

【答弁】【市長】道の駅整備事業を進めていくにあたり、市民の理解や協力が不可欠であると認識している。

事業者との打ち合わせがスタートしたが、市民が参画できる場の提供や進捗状況等について、随時、広報しろいし等でお知らせするなど幅広い情報発信に努めていく。

市民をはじめ、多くの方が（仮称）「道の駅しろいし」のファンとなれるよう取り組んでいく。

【質問】山田市長3期目

今後4年間の市政運営に対する基本的な姿勢について伺う。

【答弁】【市長】8年前の市長就任以来、私の市政に対する基本的な考え方は一貫しており、現在でも全く変わっていない。

それは、白石を何としても持続可能なまちに生まれ変わらせ、次の世代につないでいくため、決して市政課題を先送りしないこと。そして、白石の未来のために必要な施策は、たとえ前例がないものであっても積極果敢に挑戦していくことである。

3期目となる今後の4年間も、これまでの市政改革の流れを止めることなく、市民の皆さまとともに、ふるさと白石を守り続けていくため、さまざまな挑戦を積極果敢に続けていかなければならないと決意している。

市長の所信表明について

高子 秀明



〔質問〕公立刈田総合病院について、市長は所信

表明で、将来にわたり安定した地域医療の確保が見通せるようになったと述べた。具体例として、周産期医療の確立や、外科医、麻酔科医の常勤も近く実現するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕公立刈田総合病院の運営状況は、年2回、広報しろいしで市民にお知らせしている。令和4年度病床稼働率は平均56.5%、令和6年度には84.7%に改善し、医業収益も増加、指定管理者制度の下、県内の医療機関や介護施設との連携を強化し、協力施設の協定

を締結した。令和7年4月、常勤の麻酔科医が採用予定で、今後も周産期医療体制の確立も含め、地域医療充実に尽力する。

〔質問〕（仮称）白石中央SIC周辺整備事業について、本市発展の起爆剤として市民から期待の声が寄せられているのであれば、本市財政や市民経済にどのような経済波及効果をもたらすか、目標値として具体的な数字を示すべき時期だと考える。目標値を伺う。

〔答弁〕〔市長〕第469回定例会で、道の駅しろいし整備事業の契約が議決され、金額は18年間で約59億6090万円（施設整備費用41億円、運営費用18億円）、事業者は、開業後年間130万人から165万人の利用者を予測、売上は年間約7億5千万円を見込んでいる。第一次経済波及効果として、建設工事や地元企業への発注、消費増加により、地域経済に大きく寄与すると期待される。市は事業者と連携し、需要予測達成を目指していく。

〔質問〕市民の多様な意見要望を取り入れることが市政運営の根幹の一つであり、市民あつての市政運営であると考ええる。市長は選挙戦を通じて市民の声を直接聞き、新たな課題が見いだせたと拝察する。痛切な課題があれば伺う。

〔答弁〕〔市長〕高齢者からの公立刈田総合病院への称賛や、教育施策や子育て支援施策へ感謝と期待の声、SIC周辺整備事業の期待も高まり、市政改革の成果が市民に実感され始めたと感じる。今後とも市民との対話を増やし、政策を正しく理解してもらう機会を増やしていく考えている。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

太陽光発電施設の建設について

大内 卓也



〔質問〕増え続ける太陽光発電施設に関しての、本市の考えを伺う。

〔答弁〕〔市長〕「白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」、いわゆる調和条例に基づき、地域住民の理解を得ながら、自然環境および生活環境に配慮した事業が実施されるよう対処。事業者の協議に庁内関係部署の連携を図り、慎重に審査を行なっている。

〔質問〕抑制する区域の指定方法を伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕条例で抑制すべき5つの区域を設定、施行規則で16の区域を「抑制区域」として指定しており、事業区域の全部または一部が抑制区域に位置しているときは、原則として同意しない。

〔質問〕指定する前に各自治会との意見交換は設けているか伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕事業者と住民等の間で協議をすることになっている。事業者は住民等に対して理解を得られるよう努めなければならない。事業を実施する場合には、市長の同意が必要。事業者の対応によって市長が同意しないこともあり得る。同意しないまま事業に着手した場合、事業者に勧告等を行う。

〔質問〕現在までトラブルの発生はなかったか伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕状況確認の上、事業者に対応してもらった事例があった。

〔質問〕太陽光発電施設を設置することで、本市・市民への恩恵はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕事業者の責務の一つとして「地域振興に寄与するよう努めなければならない」と定めている。事業者には自然環境や景観、生活環境に寄与する何らかの貢献をしていただきたい。説明会では、地域の皆さまが求められるものを是非ご提案いただきたい。

◎（仮称）道の駅しろいしおよび防災公園について

〔質問〕訴状の内容を確認した上での当局の見解を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕本市の正当性を主張立証していきたい。

〔質問〕市内の業者への下請けについて。

〔答弁〕〔建設部長〕地元企業の協力は欠かせない。株式会社しろいしグロウパークと連携しながら取り組んでいきたい。

婦人防火クラブの在り方について

佐久間 順子



〔質問〕婦人防火クラブの現在の数について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕令和6年4月1日現在、86クラブ5686人が加入しており、5年前と比較すると、7クラブ605人が減少している。

〔質問〕婦人防火クラブの活動について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕クラブによっては、定期的な活動を実施しているとは言えないクラブもあるが、感染症の5類移行により、今後は活動を再開するものと思われる。

〔質問〕婦人防火クラブの廃止の声はないのか

伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕少子高齢化等により、新規会員の入会が少なく、活動がままならないことから廃止したいとの声もあると伺っている。

過去5年間で7クラブが減少したものの、休会という形をとっている。

〔質問〕年々参加者が少なくなり、毎年同じ方が役員を継続せざるを得ないとの声がある。

人的資源や資金、情報共有の効率化、活動の透明性を図るため、自主防災組織や消防団と統合してみてはいいかか伺う。

〔答弁〕〔市長〕災害が起これと消防署や消防団などが出動して、消火や救助救急等をするが、大災害や特殊災害とな

った場合、被災地の消防機関では到底人手が足りない。そのため、救急消防援助隊という全国的な応援体制を作っているが、被災地へ到着するまでにはどうしても時間がかかるのが現状である。

そのためには、発災直後は地元の消防団、地元の人々が行動する必要があることから、地域をよく知る婦人防火クラブの存在が、今後必要と思われる。

しかしながら、地区によつては高齢化等により、活動に支障を来しているクラブもあると伺っていることから、今後、他の自治体の事例等を研究しながら、クラブ、自主防災組織、消防団との統廃合について検討していく。

〔その他の質問〕

◎高齢者や障害者の投票率向上について

公立刈田綜合病院の周産期医療提供体制について

村上 由紀



〔質問〕周産期医療体制の現状を伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕宮城県外にも募集をかけているが、産婦人科医の応募が極めて少ない状況である。

〔質問〕周産期医療体制構築には、関係診療科の体制も整わなければならないと考える。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕令和7年4月から常勤医1名を採用予定である。

〔質問〕小児科の医療体制と見通しを伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕昨年、小児科常勤医を採用し、日曜外来、国の要綱に基づくとら歳児健

診を実施している。助産師免許を持つ看護師が3名在籍しているが、産婦人科で入院の受け入れ体制はまだ構築されていない。

〔質問〕妊婦健診をしていない理由を伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕常勤の産婦人科医の確保と他病院との連携体制構築に至っていないため、妊婦健診ができない状況である。

〔質問〕周産期医療体制構築の進捗状況とスケジュールを伺う。

〔答弁〕〔市長〕来年度には麻酔科医を採用予定である。まずは白石市で安心して赤ちゃんが産める環境に向けて尽力していく。

◎本市の妊産婦助成制度（経済的支援）について

〔質問〕妊産婦健診の交通費助成について、本市の妊産婦は市外や県外の医療機関への通院を

余儀なくされている。ガソリン代高騰の情勢の中、本市でも独自に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕妊婦を取り巻く現状、他市町村の動向等を注視している。

◎本市妊産婦の方への伴走型相談支援の取り組みについて

〔質問〕周産期医療の体制が構築されるまで、少子化が進んでしまうことが懸念される。そのペースを緩やかにするために、限られた財源をどこに集中させるかが持続可能な白石市を作り上げるポイントとなると考える。妊産婦への経済的支援施策を講じる必要性について、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕妊産婦への経済的な支援施策は重要な施策と認識している。国、県および近隣市町村からも情報収集し、経済的支援にとどまらない支援体制の強化を図っていく。

保険事業の負担と受益および その周知について

角張 大治



○医療費削減と国民健康保険税・社会保険料への波及について

〔質問〕各種健康保険財政は、被保険者からの保険料のみで事業の運営や医療給付を行なっているわけではなく、さまざまな交付金等を使って財政運営を行なっている。例えば、社会保険料の取りまとめを行なっている社会保険診療報酬支払基金は、都道府県の国民健康保険特別会計に対し、前期高齢者交付金を支払っており、同じく各都道府県にある後期高齢者医療広域連合に対しても、後期高齢者支援金

を支払っている。さらに、

社会保険診療報酬支払基金から、前期高齢者交付金を受け取っている国民健康保険特別会計からも、後期高齢者支援金を支払っている。つまり、医療費を削減

することは、国民健康保険加入者のみならず、社会保険に加入している割合が多い現役世代の負担軽減にもつながると考える。

そこで、医療費削減が実現した場合の国民健康保険税や社会保険料の税率維持、減額につながる可能性について、市の認識を伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕医療費削減がある程度実現した場合、税率維持や減額につながる可能性はゼロではないと推測するが、今後実施

される宮城県版保険料水準の統一では、宮城県全体の医療費が基準となることから、本市のみの状況から税率の維持や減額は難しいと考える。しかし、保健事業により給付費を抑える施策を実施していきたいと考えている。

○市民への制度理解と行動変容の促進について

〔質問〕今年度実施した国民健康保険税と医療費削減、生活習慣病予防の関連性重要性について、市民の理解を深めるための一体的な取り組みについて伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕新規加入時などに、各医療制度について周知を図っている。今後も健康づくり分野の各種事業の際に、医療保険制度についても周知する機会を設け、市民の理解を深める取り組みを実施していく。

聴覚情報処理障害（APD） に対する本市の対応について

大森 貴之



〔質問〕APDについて、本市としてはどのように認識されているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕騒音下や複数人数での会話で言葉が聞き取りにくいと訴えているにもかかわらず、聴力検査では難聴と診断できない状況を指すもので、わが国における確立された診断基準や検査方法はなく、認知度もまだ十分ではない状況だと受け止めている。

〔質問〕本市では5歳児健康診査が実施されており、これを活用し、専門的な医療機関等と連携して早期発見対応に

つなげるべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕将来的には5歳児健康診査をきっかけとして、医療機関との連携が図られる可能性はあると考えている。

〔質問〕APDの該当者に対する補聴支援機器等の支援策はあるのか伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕補聴器の助成については、聴覚障害の身体障害者手帳の交付とならなかった児童に対し、独自助成事業を実施している。

〔質問〕APD児童・生徒に対し、教育現場での支援策はあるのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕専門家や関係機関、保護者との連携強化を図るとともに、教職員の研修によ

る障害に対する理解と効果的な指導、支援体制の構築、学習環境の整備などの取り組みを推進していく。

〔質問〕本人や保護者が希望すれば、白石きぼう学園等へ入園許可していただけるものなのか伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕受け入れの対象となる児童・生徒には5点ほど条件があり、この条件を満たしていればAPDのお子さんを白石きぼう学園において受け入れることは可能である。

〔質問〕5歳児健診をいち早く導入した白石市として、APD支援の拡充を率先して実施していただけないか、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕可能な限りそのご家族、ご本人、そういった方々からの相談は、ぜひ受けさせていただきたいと考えている。

本市の投票環境および投票率の向上対策について

佐藤 龍彦



【質問】令和6年10月実施の選挙で、投票所となっている施設の投票環境について、市民から寄せられた意見や要望を伺う。

【答弁】「選挙管理委員会事務局」1点目は、白石第2投票所（白石第一小学校体育館）において、夕方過ぎに照明等がなく、暗くて出入り口が分からなかった。2点目は、白石第8投票所（ホワイトキューブ）でドッジボール大会が同日開催され、駐車場に車を止めることができなかったとの意見があった。

【質問】ホワイトキューブ

の投票案内の充実を図るためにも、投票場所の順路を示すなど対策が必要ではないかと考えるが、見解を伺う。

【答弁】「選挙管理委員会事務局」会場案内については現在も行なっているが、会場が広いため、目に入らない可能性もあることから、次回以降、案内を充実するよう対応していきたい。

【質問】投票率の向上を図るため、移動式期日前投票所の導入を考えられないか伺う。

【答弁】「選挙管理委員会事務局」移動式期日前投票所設置による投票環境の向上施策は、有権者の投票機会の増加・利便性の向上に一定の効果が見込めるものと認識している。他自治体の取り組み状況を

注視しながら、より効果的な施策の検討をしていきたい。

【質問】本市の今後の投票率向上の啓発活動について伺う。

【答弁】「選挙管理委員会事務局」現在も啓発活動として、ホームページ・SNSなどの情報発信、広報巡回・街頭啓発などを行なっているが、より充実した内容となるよう検討していく。また、新有権者への啓発活動として、高校での出前講座の実施や投票について、関心を持ってもらう機会として、高校生の選挙事務体験を継続し、今後とも投票率向上のために、どのような啓発活動ができるのか、他市町村の事例を参考に検討していきたい。

【その他の質問】

◎本市の子どもの貧困および子育て支援について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

運動施設の設備等について

佐藤 秀行



【質問】益岡公園野球場について、ネーミングライツや企業広告導入の検討経過について伺う。

【答弁】「市長」野球場が長寿命化工事によりリニューアルしたことから、ネーミングライツの募集、グラウンドフェンスに企業広告の掲出について、施設の管理運営に役立てる新たな財源として検討していく。

【質問】バックスクリーン、電光掲示板の設置について、ネーミングライツ、企業広告などの収入を原資として設置に向けて前向きに取り組んでいくという考えはないのか伺う。

【答弁】「市長」活用できる補助金がなく、設置するのは難しい状況にある。企業や市民の皆さまから、ネーミングライツや企業広告等により支援していただくことができたなら、それらを財源の一部として活用し、設置が可能か検討させていたたく。

【質問】駐車場にある公衆トイレについて、一部和式がある。洋式化を進めるべきではないかと考える。見解を伺う。

【答弁】「都市創造課長」各公園のトイレについて、和式便器しかない箇所を優先的に洋式化を順次図っている。他の公園の進捗状況を勘案した上で、洋式便器への改修を検討していく。

【質問】白石川サッカー公園は、完成から20年

を迎える。耐用年数も考える中で、経年劣化している芝生の交換が必要ではないかと考える。見解を伺う。

【答弁】「都市創造課長」今年度、公園施設長寿命化計画の改定を予定している。この長寿命化計画に基づく改修であれば補助金の活用が可能となることから、計画的に改修していきたいと考えている。

【質問】白石川緑地野球場からの通路部分において、これまで未舗装であった所を舗装にしたいだいてる。

まだ未舗装になっている箇所が一部あり、利用する市民の利便性を考え、舗装できないものが見解を伺う。

【答弁】「市長」利用者の利便性、安全性がさらに確保される状況であると思われることから、前向きに検討していく。

児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について

四電 英夫



【質問】本市小中学校におけるいじめや問題行動、不登校の実態を伺う。

【答弁】「教育専門監」令和5年度のいじめの認知数は小学校18件、中学校4件であり、前年度と比較すると減少している。暴力行為は小学校4件、中学校6件で、前年度より小学校は減少、中学校は増加している。不登校は小学校63人、中学校57人で、小学校は増加傾向、中学校は減少傾向にある。

【質問】それらの原因は何か伺う。

【答弁】「教育専門監」複数の要因が関係していることから、特定することとはできないが、一般的

【質問】保護者に対する対応を伺う。

【答弁】「教育専門監」保護者に対する適切な情報提供、相談窓口の案内など、誠実な対応に努めている。教職員のほか、カウンセラー・ソーシャルワーカーなどの専門職も配備している。

【質問】こうした事を防ぐために、どのような対応をしているか伺う。

【答弁】「教育長」子どもたちが学ぶ環境づくりとして、「温かな学級づくり」「分かる授業づくり」「絆づくり」を意識して進めている。

また、毎年、いじめ防止大会を開催し、市内全校の参加の下、各校での取り組みの紹介をしている。

6月と12月を「いじめ防止月間」、毎月10日を「いじめゼロの日」とするなど、学校・関係機関と連携し、児童・生徒が安全・安心して学校生活が送れるよう努めている。

議会を傍聴してみませんか

2月定例会は、2月13日(木)
午前10:00開会予定です。



傍聴のしかた



インターネット中継

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。

<12月定例会>

- 傍聴者のべ人数 29人
- ライブ配信視聴回数 561回
- 録画視聴回数 219回

人事

12月定例会において、次のとおり任命・選任することに同意しました。

【教育委員会委員】

(任期：令和6年12月14日～令和10年12月13日)

鈴木 順子氏

【副市長】

(任期：令和7年1月1日～令和10年12月31日)

村上 忠則氏

編集後記

寒さが厳しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。「市議会だより」を手にとっていただき、ありがとうございます。

日々の生活の中で、何気ないことが地域や社会の支えになっていると感じる瞬間があります。

「健康が1番身近な社会貢献」という言葉もその一つではないでしょうか。

本号では、市議会での議論されたさまざまなテ

マや取り組みを通じて、私たちの暮らしや地域の未来について考えるきっかけをご提供できればと願っています。どうぞ引き続き、皆さまのご意見をお寄せください。次号もお楽しみに。

議会広報委員会

角 張 大 治

委員 英由紀 龍彦 秀明 之治 卓也 順子
委員 四電 村上 藤子 森貴 大内 佐久間
議会広報委員会 委員長 佐藤 高森 大角 大内 佐久間
委員 長 村 上 忠 則 氏
副委員長 村 上 忠 則 氏

第8回

市民と議会の意見交換会

令和7年3月16日(日)

第1部 午前10時～11時30分

第2部 午後 2時～ 3時30分

受付開始：それぞれ開始30分前より

白石市中央公民館ホール

※お申し込み不要です

直接会場へお越しください

どなたでもOK！
聞きに来るだけでもOK！

～ 私たち市民が考えるまちづくり～

学校はこんな感じだよ！ 白石の良さを伝えたい！
こんな施設がほしい！！

交通機関を使いやすくするには
こうしたらいいんでない？！ 観光客を増やすには…

考えているだけではもったいない！！

白石市の未来について

市議会議員たちと話し合おう！

ワークショップ形式

議員4名のグループに参加

※グループ分けは抽選式とさせていただきます



参考資料：第六次白石市総合計画



主 催：白石市議会

お問い合わせ：議会事務局 0224-22-1351